

新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税減免申請書

棚倉町長 様

申請者 住 所 棚倉町大字〇〇字〇〇

氏 名 〇〇 〇〇

(電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

(被保険者との関係 本人)

下記のとおり、国民健康保険税の減免を受けたいので、新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免の特例に関する規則第4条の規定により、申請します。

記

1 被保険者等

被保険者番号	島56-〇〇〇〇
納税義務者氏名	〇〇 〇〇
納税義務者住所	棚倉町大字〇〇字〇〇

2 減免を受けようとする保険税額等

年度	納期限	保険税額	年度	納期限	保険税額
4	令和4. 8. 1		4	令和4. 11. 30	
	4. 8. 31			4. 12. 28	
	4. 9. 30			5. 1. 31	
	4. 10. 31			5. 2. 28	
			合 計		

3 減免を必要とする理由

イベント等の自粛で収入が減少したため。

外出自粛要請で収入が減少したため。 など

■新型コロナウイルス感染症やそのまん延防止のための措置の影響により、世帯の主たる生計維持者の収入が減少していることが必要です。

■世帯の主たる生計維持者であっても新型コロナウイルス感染症の影響によらずに退職し、その後新型コロナウイルス感染症の影響で再就職先が決まらないことによる収入減少は対象外となります。

■世帯の主たる生計維持者の収入が減少見込であっても、事業収入などの令和3年分所得金額がゼロまたはマイナスの場合は減免の対象外となります。

第1号様式（第4条関係）その2
（別添）

収入・所得明細書

（単位：円）

月別	今年の収入額①				前年の収入額②	差引収入額 （①－②）		
	事業収入	不動産収入	山林収入	給与収入				
1月	収入が確定している月は、売上台帳、給与明細などから実績を記入します。							
2月								
3月								
4月	収入が確定していない月は、見込を記入します。 例えば、確定している月の平均額を用いる、前年の実績をもとに今年の減少率を考慮した額を用いるなど、合理的に見込みます。							
5月								
6月								
7月								
8月								
9月	国保の非自発的失業者の国保税軽減制度の対象となる方については、今回の収入減少による保険税の減免には該当しません。				減免の対象となるのは、差引収入合計額が前年の収入合計額の30%以上減少している必要があります。			
10月								
11月								
12月								
合計								

記入方法

- ①申請月より前の月については、確定した収入額を記入してください。申請月以降は収入見込額を記入してください。
 - ②収入がある場合は、給与明細や売上台帳、現金出納帳、預金通帳など内訳が分かる書類を添付してください。
 - ③退職により収入が減少した場合は、退職証明や離職票など退職した日時がわかる書類を添付してください。
- ※記載する金額は、所得や手取り金額ではなく、収入額（額面額）です。

上記のとおり提出します。

令和4年〇〇月〇〇日

住 所 棚倉町大字〇〇字〇〇

氏 名 〇〇 〇〇

印